

「明日を拓く東北放射光施設」シンポジウム@福島



主催：福島大学
後援：福島県

日時：2月24日（水）13時～16時

場所：コラッセふくしま（JR福島駅西口より徒歩3分）・4階 多目的ホールA

概要

放射光は新規性材料の開発や創薬などに大きな威力を発揮する先端分析技術です。

現在、東北地方に新しく放射光施設を設置する機運が高まっていることから、放射光の専門家をお呼びして、地域の産業界や一般市民のみなさんとともに、「放射光施設とは何か」「東北放射光計画の現状はどのようになっているか」「放射光があるとどんなことに使えるのか」などを考えていきたいと思っております。入場は無料です。お気軽にお越しください。

13:00 開会のあいさつ 小沢喜仁（福島大学副学長（地域連携担当））

13:10~13:40 「放射光って、どんなもの？」

入野野修（こむこむ館館長・元福島大学長）

13:45~14:45 「東北放射光が、復興を超えて拓く産・学・地・共生イノベーション」

高田昌樹（東北大学）

14:45~15:00 休憩

15:00~16:00 放射光施設利用の実例紹介

「見えない分子を”見る”」

大山 大（福島大学）

「銅板表面の腐食過程を探る」

大橋 弘範（福島大学）

「根のまわりのヒ素・カドミウムの化学形態を分析する」

山口 紀子（農業環境技術研究所）

「再生可能エネルギー利用に向けた水素貯蔵材料研究」

小曾根 崇（産業技術総合研究所）

「材料の劣化度合いを光で捉える」

山口 克彦（福島大学）

16:00 閉会のあいさつ 二見亮弘（福島大学共生システム理工学類学類長）



Synchrotron Light in Tohoku, Japan